

學界近況

ライプチヒより

左の通信は千葉助教授より心理學讀書會に宛て、寄せられしもの、同會の承諾を得て此處へ出すことにした。

上畧。本月中(二月)に大學教授の大移動有之候由に候が、目下の處心理學の方は伯林にストウンプ教授あるも、停年制にて近く退隱する筈。ツチンゲンにミユラー、クライフスワルドにレムケ兩老教授依然舊の如くフランクフルトには矢張シュマン教授あり。ケルプ、ケーラー兩氏之を輔け、ボンにデイロツフ氏、ウイエルツブルグにマルベ氏、ケーニグスブルグにアツハ氏教授たる事も變り之なく、唯だミューンヘンのビュラー氏の消息、不明。少壯ベツヘル氏教授の任にある意外の感有之候。尙ライプチヒにはエナのクリューゲル氏、ザントの後を襲ひて正教授の地位にあり。ウイエルト、クレム兩氏員外教授たり。講師に少壯なるキルヒマン氏有之候。而してクリューゲル氏の後にはチーエン教授其任にあるやに聞及候。因にマイノング教授物故されし由に候が如何にも残念に候。機を見てクリューゲル教授を訪問都合によりてはフランクフルトにシューマン教授に面語を得るの期有之べし。生存居候應用方面も可成考究せられ居るもの、如く本日のベルリッテル、タレグブラットにも、ベルリン市に於て中學及女學校の入學に心理學的試驗を適用せる記事相見候下略。

彙報

京都哲學會春期公開講演會

五月一日午後一時半より法學部第一教室にて開會。左の講演を行へり。

倫理に就いて

繪畫の對象

講演後學生集會場にて晚餐會を開催、入浴中なりし石原謙博士も出席せられたり。

倫理學會

五月二十日午後五時より學生集會場にて左の講演を開催せり。
道德の基礎としての個人、國家及び社會

文學士 十時 彌君

寄贈書籍雜誌

哲學雜誌、丁酉倫理講演集、心理研究、東洋哲學、日華公論、文化運動、學校教育、教育、内外教育評論、教育學術界、教育界、教育研究、教育時論、都市教育

シタムラー

法律及法律學の本質

文學士 中島慎一譯
東京 大村書店

ウインデルバンド
論理學の原理

文學士 佐竹哲雄譯
東京 大村書店

日蓮宗歴史

東京 影山龜雄著
同融社